事例No.	2763
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	山形県上山市・上山市温泉クアオルト協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・福祉・介護

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

上山型温泉クアオルト事業
～ “ 心と体がうるおうまち” づくり～

出典

令和３年度ふるさとづくり大賞事例集



ふるさとづくり大賞 ―地方自治体表彰―

上山型温泉クアオルト事業

～“心と体がうるおうまち”づくり～

山形県上山市（かみのやまし）・上山市温泉クアオルト協議会（かみのやまし）



取組の概要

上山型温泉クアオルト事業（ドイツ語で健康保養地の意味）は、“心と体がうるおうまち”を基本理念に、先進ドイツにならいながらも市の独自性をプラスし、森林をはじめとした自然や「美肌の湯・あたたまりの湯」と言われる温泉、四季折々の食などの地域資源を活かし、健康・観光・環境をキーワードに、市民の健康増進と交流人口の拡大による地域活性化を目的に、官民一体となって仕掛ける全国に先駆けたまちづくり施策である。

取組のプロセス

2008年～ きっかけ
市民一人あたりの医療費、高齢化率が山形県内で高水準、観光宿泊客数も激減しており、まち全体の活性化が急務

2008年～
・内閣府「地方の元気再生事業」の採択

「上山市温泉クアオルト協議会」を組織、事業スタート
・協議会に医師会・商工会・観光事業者等が参画
・気候性地形療法の効果検証
・ウォーキングコースの整備、専門ガイドの養成



2011年～
・誰れもがが気軽に運動の習慣化を図れる仕掛けが必要

毎日ウォーキングのスタート
・地元住民を対象に認定コースを予約なしで専門ガイド付きウォーキングを毎日開催

2015年～
・医師会、地元検診機関、学術機関旅館等の全面協力
・首都圏企業等の参画

厚生労働省「宿泊型新保健指導試行事業」東北地方で唯一採択
・企業等従業員を対象に地域資源を活かし、運動・食に係る体験型の保健指導ツアーを造成

2020年～
・働き世代、健康無関心層に対するアプローチについて検討

ICTを活用した「かみのやま健康ポイント事業」スタート
・医療費ハイリスク者を含む市民600名を対象に、ICT（活動量計）を活用した効果の見える化、健康づくりを継続できる独自の仕組みを構築



2020年～
・コロナ禍で社会状況が激変、企業等において健康経営、働き方改革の推進が急速に拡大

林野庁「森林サービス産業」モデル地域に東北地方で唯一選定
・心と体の健康づくり等のための森林資源を活かした各種体験プログラムの開発
・県内外企業に対する導入提案活動の実施





2020年～
・蔵王坊平観光協議会が参画、本事業では始めて民間組織が主導して実施

今後の展望
・市民の各種健康データに基づく効果的なアプローチにより、健康課題に直結するより実効性の高い施策の展開
・県内外企業との協定締結により、健康経営支援を切り口にした誘客促進、関係人口拡大

DATA

事例名：『上山型温泉クアオルト事業～“心と体がうるおうまち”づくり～』
山形県上山市・上山市温泉クアオルト協議会
所在地：山形県上山市河崎一丁目1番10号
連絡先：TEL 023-672-1111（内線222）
FAX 023-672-1112
E-mail kurort@city.kaminoyama.yamagata.jp
ホームページ：https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/site/kurort/

KURORT
心と体がうるおうまち
かみのやま